

## 令和4年度 事業報告

地域住民の足として必要不可欠な公共交通機関であるバス輸送を振興するため、輸送の安全性確保のための助成や利用促進等の啓発活動を、奈良県から交付される運輸事業振興助成補助金等を財源として行った。

また、前々年度及び前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応として、地方自治体等関係機関に対してバス事業への支援等の要望活動を行った。

### I 新型コロナウイルス感染症の対応

#### 1. 地方自治体等関係機関に対してのバス事業への支援等の要望活動

(1) 地方自治体への「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(以下、地方創生臨時交付金)」等を活用した支援要望

・令和4年5月9日(月)

植田会長、井上専務理事で奈良県を訪問し、要望書を提出するとともに、現状説明及び「地方創生臨時交付金(地方単独事業分)」を活用した燃料費高騰等への支援要望を行った。

・令和4年10月18日(火)

森島会長、井上専務理事で奈良県を訪問し、要望書を提出するとともに、現状説明及び「地方創生臨時交付金(電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金)」を活用した燃料費高騰等への支援要望を行った。

(2) 国会議員等への支援要望

・令和4年8月29日(月)

奈良ロイヤルホテルで開催された公明党奈良県本部政策要望懇談会において、公明党浮島衆議院議員、山本参議院議員、熊野参議院議員をはじめ県会議員に対して、森島会長から業界の状況説明及び支援要望を行った。

#### 2. その他

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、手指消毒剤を会員事業者に配付した。

### II 助成事業

#### 1. 停留所上屋等の整備事業に対する助成

利用者がバスを快適に利用できるよう、乗合バス事業者が行う停留所上屋やその他施設等の整備事業に助成を行った。

・停留所上屋の修繕改修(4ヵ所)

・停留所標板更新等(45ヵ所)

・生活様式の変容に対応したサブスクリプション型 web 定期券販売システム整備

#### 2. バス輸送の安全性の確保に対する助成

地域住民の生活に重要な役割を果たしているバス輸送の安全性を確保し、バス利用者保護に努めるため事故防止対策として次の事業に助成を行った。

(1) 運転者適性診断

- ・一般診断の受診者数 … 358名
- ・初任診断の受診者数 … 91名
- ・適齢診断の受診者数 … 116名

(2) 適性診断活用講座受講者数 … 11名

(3) 運行管理者一般講習受講者数 … 125名(うち出前講習43名)

(4) 整備管理者講習受講者数 … 80名

(5) 睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査受診者数 … 57名

(6) 脳MRI(磁気共鳴画像)検査受診者数 … 133名

(7) 心臓ドック検査受診者数 … 1名

(8) アルコールチェッカーの配付 … 83個

(9) ドライブレコーダー導入助成事業(車載器) … 33両

(10) デジタル式運行記録計導入助成事業(車載器) … 1両

(11) 安全運転研修事業 … 32名(クレフィール湖東25名・奈良交通自動車教習所7名)

### III 広報啓発事業

バス輸送の安全性を確保するため、運輸事業に携わる者の資質及び安全意識の向上に資するための講習等を実施し、また、乗合バス利用客の減少に歯止めを掛けるべく利用促進に向けた振興策の取組み、更には、乗合・貸切事業に共通する安定的な経営の推進を目指すことが地域社会の発展に重要な課題であると捉え、更なるバスの利用促進を図るため次の事業を行った。

#### 1. 交通安全

(1) 全国交通安全運動や奈良県交通安全県民運動等の取組みに対し、積極的な啓発活動を実施するとともに、年末年始輸送安全総点検実施要領に準じた確実な交通安全に向けた傘下会員への周知展開を行った。

(2) 令和4年10月7日(金)開催の事故防止委員会に近畿運輸局奈良運輸支局から講師を招き、「輸送の安全にかかる、最近の動向等」、「運輸マネジメントにおける自然災害に対する取組」についての講義を受け、事故防止及び運輸安全マネジメント等の意識醸成を図った。

また、令和5年3月17日(金)開催の貸切委員会に独立行政法人自動車事故対策機構奈良支所から講師を招き、「交通事故に関係する生理、心理とその対策」について講義を受けた。

(3) 軽井沢スキーバス事故では、シートベルトを着用していない利用者が多数亡くなられたことから、「走行中はシートベルトを着用してください」のシートベルト啓発ポケットティッシュを作成し、貸切バス乗客へのシートベルトの着用徹底の広報のため会員事業者へ配付した。

- (4) バス車内での事故防止のため、乗合バス車内に啓発ポスターを掲示するとともに、走行中の注意喚起が記載されたポケットティッシュを作成し、乗合バス乗客への広報のため会員事業者に配付した。
- (5) 交通安全に向けた広報として、交通安全の標語「みんなでなくそう交通事故」「シートベルトをしめましょう」を表記したデザイン入りの紙コップを作成し、貸切バス乗客への広報のため会員事業者に配付した。また、事故防止啓発のため反射エコトートバックを作成し、乗合及び貸切バス乗客への交通事故防止の広報のため会員事業者に配付した。
- (6) 営業区域外輸送の排除など輸送秩序維持のため、夏期に実施を予定していた事態調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大により昨年度に引続き中止した。
- (7) 自家用バスの適正な使用を求める運動のため、近畿運輸局及び近畿ブロックのバス協会が協働して実施する「違法白バス追放月間」(11月)において、広報ポスター・リーフレットを作成し、市町村及び関係団体に掲示等の依頼をし、自家用バスの適正な使用方を啓発した。
- (8) 会員事業者の貸切バス事業者安全性評価認定制度の認定状況は、更新認定のみであったが、3ツ星が6社、2ツ星が2社、1ツ星が6社と計14社が認定を受けている。  
なお、公益社団法人日本バス協会主催による同制度の説明会については、昨年度に引続き同協会のホームページへの申請案内及び申請書類等の掲載に変更された。
- (9) 自動車運転業務について、適用が猶予されていた時間外労働の上限規則の令和6年4月1日からの適用を控え、令和4年7月6日(水)に奈良労働局労働基準部監督課から講師を招き、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準(改善基準告示)の改正内容(バス)」についての説明会を開催した。

## 2. バスの利用促進

- (1) 地球温暖化ガスの削減や大気環境の改善は喫緊の課題であり、地球環境を守るための地球温暖化防止の一助として、環境保全に関する意識醸成を図るため、啓発ポスターを作成し、乗合バスの車内に掲示した。
- (2) 9月20日の「バスの日」には、バスへの親しみとバス事業への理解を深めてもらうため、ポスターを掲示するとともに、「みんなの乗車が走り続けるエネルギー！ 乗って応援バスの未来」を表記した除菌ウエットティッシュを作成し、バス乗客への利用促進の広報のため会員事業者に配付した。
- (3) 県内に訪れる旅客の利用利便の向上を図るため、「飛鳥」「斑鳩」「桜井・宇陀」周遊観光マップを作成し関係自治体等に配付した。また、奈良県乗合バス路線図及び各周遊観光マップのデータ(周遊観光マップについては英語・中国語・韓国語の多言語)を更新し、当協会のホームページに掲載した。
- (4) 令和4年8月6日(土)にポリテクセンター奈良(奈良職業能力開発促進センター)で開催された「しごとフェスタ2022」に、参加の会員事業者によるバス車両の展示及び

バス車内でのゲーム大会を行うとともに、専用ブースでの各社担当者による就職相談を行った。また、バス協会としてリーフレット及びグッズ等を配付しバス事業のPRを行った。

### 3. バスマつり

令和4年6月12日(日)に奈良市・平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」において開催された「スルッとKANSAIバスマつり」の近畿バス団体協議会ブースに参加し、来場者への地域におけるバスの役割と重要性のアピールのため広報啓発グッズを配付した。

## IV 表彰事業

乗合バス及び貸切バス関係事業の従業員であって、当該業務に精励し、その勤務成績優秀にして他の模範となる者に対して優良従業員表彰を行っており、令和4年7月26日(火)に表彰式を開催し24名を表彰するとともに、併せて1名に日本バス協会観光バスガイド褒賞状の伝達を行った。また、令和4年12月16日(金)に優良運転者日本バス協会会長表彰伝達式を開催し9名に表彰状の伝達を行った。

## V 庶務事項

### 1. 会員数(令和5年4月1日)

乗合貸切兼業	3社		
乗合専業	1社		
貸切専業	19社	合計	23社

### 2. 協会の機構

役員	会長	1名	
	理事	5名	監事 2名
委員会	総務委員会		交付金運用委員会
	乗合委員会		貸切委員会
	事故防止委員会		

### 3. 表彰関係

#### (1) 自動車関係功労者(運転者)大臣表彰

奈良交通株式会社 1名

#### (2) 自動車関係功労者(運転者)近畿運輸局長表彰

奈良交通株式会社 3名

#### (3) 旅客自動車運送事業運転無事故近畿運輸局長表彰

宇陀観光株式会社

株式会社あすか

佐原自動車株式会社 3社

#### (4) 優良運転者日本バス協会会長表彰

奈良交通株式会社 9名

#### (5) 観光バスガイド日本バス協会会長褒賞

奈良交通株式会社 1名

#### (5) 優良従業員奈良県バス協会会長表彰

奈良交通株式会社 18名(運転者)

帝産観光バス株式会社 1名(運転者)・1名(観光バスガイド)

大紀観光株式会社 5名(運転者)